

ムハマド・ユヌス教授  
会長

Yunus Centre  
(住所)

2020年4月3日

件名: Supper HappYYness Festival 延期のお知らせと  
Post-Corona World の構築に向けた準備の呼びかけ

親愛なる友人たちへ

私はもっと早くに皆様に手紙を送るべきでした。しかし、COVID-19 が全てを変えました。

私は今 Supper HappYYness Festival について書いています。このような悲惨な状況下で Festival を開催することはできません。来年、同じ日、同じ場所のままで延期されます。

Supper HappYYness Festival の背景にある社会意識とソーシャルビジネスの使命への私たちのコミットメントへの積極的な支援に感謝します。この Festival を開催するにあたり、私たちは自分自身を再発見しました。今では、私たちはより堅固で広範な基盤に基づいていると感じています。このプロセス全体を通して、私たちが実際にすばらしい世界を構築し、明日に向けたより良い世界を構築するために巨大な社会意識を解き放つ準備ができていることに驚きを感じています。

しかし、コロナウイルス (COVID-19) のパンデミックによって引き起こされた突然の世界的な健康へのチャレンジは、すべてを止めてしまいました。命を救うことは、当然ながら全世界で唯一の課題となっています。私たち 1 人 1 人があらゆる瞬間にこの新たな現実に向き合っています。(世界的な) 焦点のシフトに合わせ、私たちは Supper HappYYness Festival を延期とし、新しい存在意義に向き合うために専念する必要があります。私たちは、いかなる場所においても誰もが WHO に従い、集会を避け、頻りに手を洗い、家に留まることをお勧めします。健康と安全は私たちの最優先事項です。私たちはこれらに従うことを約束し、誰もがこのように行動することをお勧めします。

それまでの間、Festival の新たな日程を設定するに至りました。Supper HappYYness Festival は、2021 年 6 月 26 日～29 日、今年の開催予定日からちょうど 1 年後に開催されます。あきらめることではないだけでなく、今や私たちにとっては開催が must となりました。

猛威を振るうパンデミックにより、この Festival はより有意義で緊急なものとなりました。パンデミックにより、何が間違っていたのか、そしてどのように自分自身を再発見すべきかを振り返る機会を得ました。この危機は、既存の世界秩序の崩壊につながっています。それが起こった場合、前向

きな意味では、古い秩序の破壊の灰を乗り越え、完全に新しい社会経済秩序を構築する絶好の機会を構築する機会を得ることになります。

私たちが古い秩序の崩壊のために涙を流す理由はあまりありません。古い秩序は私たちを災害に導いた。ある意味で、私たちはこの悲惨な道から外れることができ、幸運とも言えます。私たちは選択肢を持っています—古いトラックに戻るのか、新しい文明に導くために新しいトラックを構築していくのか。私たちは新しいトラックを構築する位置に立っています。私たちは 2008 年の世界的金融危機の後の構築のチャンスを逃しました。今回はチャンスを逃さないようにしましょう。

この観点で、Supper HappyYness Festival 2021 は非常に重要かつ時宜を得たものになります。

2021 年の Festival を計画する間、私たちは人々、特に高齢者と経済的に脆弱な人々を救うという当面の課題に焦点を当てるべきです。すべての人々をそのシステムに含めるために、どのようなヘルスケア・システムを構築する必要があるかに焦点を当てることができます。誰かが逃した場合、彼または彼女はすべての人に健康被害を招く大きな穴となります。私たちはそれぞれが全体の一部として認識されるようなシステムを構築しなければなりません。どんなに豊かでパワフルであっても、誰も島ではありません。完全な生命システムは人間だけに限定されません。システムにはすべての生命体が含まれます。すべての生活のバランスを保つことは、私たちの食習慣の問題につながります。私たちは何を食べるべきかを学ぶべきです。COVID-19 は私たちに私たちの食生活に関する厳しい教訓を教えてくださいました。私たちはすべての生命体を尊重するようになれば、この地球上のすべての生命体にとってより安全な生活をおくることができるでしょう。

危機が深刻化するに伴い、私たちは Supper HappyYness コミュニティを動員する必要があります。私たちは、この激しい戦争の真只中に、人々に新しい世界への希望を与えることができます。私たちは行動しなければなりません。行動する時です。私たちは、現場で行動し、全国的に行動し、グローバルに行動することができます。私たちは、結果を生み出す知識、ネットワーク、創造性を有しています。私たちは個人、家族、コミュニティと協働し、若者、高齢者、ビジネスの世界と協働し、企業と協働することができます。私たちは技術者と協働することができます。私たちは政府、金融機関、政策立案者と協働することができます。私たちが行動しなければ、2008 年の世界に戻り同じことを繰り返します。これは現状維持のための最も簡単なオプションです。私たちは彼らに、以前よりも魅力的で、これまで考えられなかったより根本的な変化をもたらす新たなオプションを提供しなければなりません。これは、すべてのレベルでの行動の時です。

相互に繋がるのが全世界を小さな近所に変えたことは、今日までそれほど明確ではありませんでした。誰も他の人から遠すぎないということは誰にも明白ではありませんでした。私たちが彼らの状態や問題に気づいていないという理由で、現場にいる誰も無視することはできません。私た

ちが何もしていいとすれば、それは私たちの無関心のためです。私たちの無関心は、個々人が富の蓄積に成功することができれば、それはすべての人に利益をもたらすという間違っただけの信念から来ています。この信念は現実に基づいているのではなく、人間の幸福のすべての規範に反していることを指摘するために目を覚ます時です。私たちの物質的そして心理的幸福は、お互いから奪い合うことではなく、シェアリングに根差しています。

このパンデミックは、シェアリングが前進する唯一の道であることを示しています。

この壊滅的な状況下では、私たちの責任は、困窮して自分を守ることができない人々をケアすることです。これは、私たちの Super HappyYness コミュニティが、過去のすべての経験から得た連帯のための世界的なガイダンスを提供するための行動を導き出す時です。私たちは、私たちの無限の誤った管理、誤解された経済モデル、そしてヘルスケアへの無関心を通じて発生した甚大な被害の結果を処理する方策を示さなければなりません。

私たちは次のようにこれからの日々を計画します。”The Summer of Propose”の旗印の下、この夏も働き続けなければなりません。

私たちは、WHO と国連に耳を傾け、日々の現実に対処するための指導を受けるべきです。私たちが放棄した Super HappyYness Festival の旧日程の同じ時期 6 月末までに、私たちはあなたたちの意見を基に、”New Civilization”を構築するためのキャンペーンを開始するのに適切な時期であるかどうか、世界的な状況を評価します。いずれにせよ、私たちは私たちのコレクティブな考えやアイデアと共に改めてご連絡いたします。そのため、その時点での各国の状況と私たちのコミュニティ内及びグローバルに果たす役割を確認するために、仮想的に集まるためのアイデアが生み出される場合に備えて、2020 年 6 月 26 日～29 日の旧日程を引き続き確保することをお勧めします。

COVID-19 パンデミックはすでに全世界にインパクトを与えています。私たちは、いかにこのパンデミックが、私たちのヘルスシステム、グローバルな意思決定システム、対処メカニズム、グローバルな金融システム、そして私たちの長い間当たり前のことと思ってきた生活のより多くの側面の中の弱点を明らかにかを事態の終わりまで見ていかなければなりません。6 月の終わりまでに、私たちは今現在見ているものよりもはるかに多くを見ることになるでしょう。誤って設計された大規模な復旧プログラム-ひどく非難されている制度的構造とプロトコルの裏で、富裕層に容認できないタイトルが明白になる前に、私たちは、概念、精緻なプログラム及びポリシーを詳しく定義する機会を利用する必要があります。

私たちは、コロナ危機が近い将来に不快な記憶を遠ざけて終わるだけでないことを約束する必要があります。私たちは 2020 年を私たちの思考と行動の構造的シフトの年としてマークする準備を

する必要があります。2020年の記憶は私たちに道徳的なエネルギーと意志を提供し、劇的に自分自身を再定義するでしょう。人類の新たな誕生の年を2020年にしなければなりません。私たちは2020年に至るまでのすべての思い出を宝として扱うべきです。私たちが、この惑星とそれが保持するすべての形態の生命の未来が何であるかを一気に想像して無限の昼夜を費やす間このことを考えてください。

この間、健康を維持し、他のすべての人の健康を保ち、生存のための食糧を探すのに苦労している高齢者や家族の世話をしてください。ローカルおよびグローバルに連絡を取り合いましょう。私たちは一人ではないことをお互いに保証しましょう。

改めて、素晴らしい友人でいてくれたことに感謝します。

敬具

(署名)

ムハマド・ユヌス教授